

アジアの最後のフロンティア ラオス視察

～ 巨大ダム建設プロジェクトと日本式ものづくりの現状を探る ～



主催：大阪国際サイエンスクラブ

趣 旨

大阪国際サイエンスクラブでは、毎年テーマを決めた海外視察を実施しており、これまでに「西安～杜仲ゴムの研究開発～」 「モンゴル～乾燥地帯の緑化～」 「北欧3カ国～高レベル放射性廃棄物処理施設等～」 「ミャンマー～ティラワ経済特区・ヤンゴン工科大学等～」 「ハワイ諸島～すばる望遠鏡と島嶼域における新エネルギー実験施設～」 など、各国の自然・文化・産業等に関する見聞を広めて参りました。本年度は村上春樹が『ラオスにいったい何があるというんですか?』という紀行文集を出版、話題になっていますアジアの最後のフロンティア、秘境の地、ラオスを視察いたします。

1975年にラオス人民民主共和国が成立し、政治的にはベトナム、中国と同じく社会主義国ですが、1986年以降は「新思考政策」を実施し、経済開放化と市場経済原理を導入。国営企業の民営化や銀行制度や税制の改革、法整備などを推進し、外国企業の誘致などに積極的に取り組んできました。その結果が、現在の著しい経済成長につながったと考えられています。豊かな自然と資源に恵まれた国です。一人当たりGDPは1,628ドルと、ASEAN諸国の中では下位層にありますが、経済成長率は8.0%という高い成長率を維持しています(2013年、ラオス統計局)。ラオスは別名「メコン地域のバッテリー」と呼ばれるほど、メコン川を利用した水力発電が発達しており、近隣国のタイ等に売電して得た外貨収入が、ラオスの経済基盤のひとつとなっています。また金や銅、ポーキサイトなどの鉱物資源の探鉱の他、ダムや発電所などの大型インフラ建設プロジェクトが各種進行しており、それらが一体となってラオスの経済成長を牽引しています。

今回は巨大ダム建設プロジェクトの一環として、「黒四ダム」の10倍の貯水量をもつ「第二の黒部ダム」建設の意気込みで臨まれています。関西電力様が建設中のナムニアップ水力発電所を視察いたします。また、現地日本企業の方々との懇談会も予定しています。首都ビエンチャンでは交通渋滞解消のために交通観測システムの実証実験等を視察します。現地事情を知る良い機会でもございます。是非ご参加下さい。ご家族、ご友人などのご参加も歓迎致します。

期 間

2016年5月20日(金)～5月26日(木) (現地6泊 7日)

訪問先

ルアンパバーン

ルアンパバーンはランサン王国(1353-1975)の王都で、古くはムアン・スワといい、その後シェントーンと呼ばれるようになりました。カーン川とメコン川の合流地点に位置する緑豊かな町ルアンパバーンは、その美しいラオスらしい町並みと、歴史的、文化的遺跡保護の観点から、1995年、ユネスコによって世界遺産に指定されました。アジア最後の桃源郷といわれ、プーシーの丘から町並みが一望でき、ルアンパバーン名物でもある夕陽は荘厳です。イギリスの有名旅行雑誌で「2015年・満足度の高い観光地ランキング」1位に選ばれました。



ビエンチャン



ラオス人民民主共和国の首都。メコン川沿いに広がる町。タイ王国とは、メコン川で国境を隔てています。隣国の度重なる侵攻にさらされてきたものの、仏教国の首都として政治や文化の中心を担ってきており、数々の仏教寺院や仏塔を残しています。「ピャクダンのある城壁地」という意味や「月の都」という意味がありますが、ラオス情報文化省は様々な説を紹介しています。街路樹が多く「森の都」とも呼ばれています。

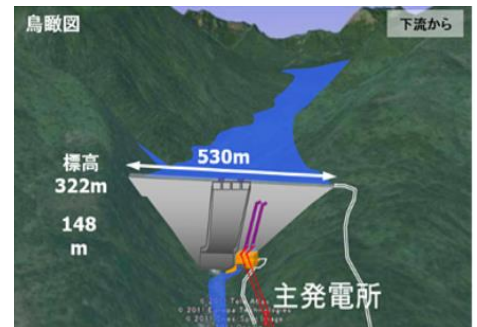
●交通渋滞解消と公共バス利用促進に向けてスマートフォンを使った「位置情報・交通観測システム」の普及・実証事業

神戸市中央区のコンサルタント業「社会システム総合研究所」が、ラオスの首都ビエンチャンの交通渋滞解消と公共バス利用促進に向けてスマートフォンを使った「位置情報・交通観測システム」の普及・実証事業を現地で始めました。期間は本年10月まで。首都の社会課題解決につながるとして、事業費は国際協力機構（JICA）が約1億円支援。JICAによると現地では近年、オートバイを含む自動車年平均で約7%ずつ増え、正確な交通量を把握した管制の仕組み作りが急務でした。同研究所のシステムは、GPS機能付きスマートフォンを55台のバス内に置き、位置情報や速度から路線の交通の流れを分析し、バスの位置や渋滞情報をインターネットで公開します。事業によりバスの効率的な運行計画が立てられれば、ビエンチャン市民のバス利用が進んで渋滞解消につながる見込みです。

●ナムニアップ水力発電所

ラオスとタイの国境を流れるメコン川の支流・ナムニアップ川に、高さ148m、堤頂長530mのダムと、出力約27万kW（主ダム）と2万kW（副ダム）の発電所を建設し、タイ発電会社とラオス電力会社に売電します。関西電力は2006年4月に独占開発権を取得し、プロジェクトリーダーとして、複数国のパートナー企業と協同でプロジェクトを推進しています。2013年8月には売電契約を締結し、2014年8月には、融資契約を締結し、同年10月にはプロジェクト本体工事の本格着工を行いました。今後、2016年4月からダムのコンクリート打設を予定しており、発電所や送電設備等の建設を進め、2019年1月の運転開始を目指しています。

国内の電気事業の経験を活かし、設計や工事全体の工程・品質管理を担当します。これにより、土木や電機工事などの業種別に工事を分割して発注することが可能になり、技術力の高い日本企業がダムや水車発電機などを施工できるようになりました。このように「日本企業中心」の体制で取り組み、そのよさを広く伝えることで、日本のインフラ輸出拡大にも貢献できると考えています。同水力発電所は、日本一の堤高を誇る黒部ダムと同規模で、10倍の貯水容量のダムを持つことになるため、「第二の黒部建設」という意気込みで臨んでいます。



ナムニアップ水力発電所 関西電力 HP より

関西電力様のご厚意により、ナムニアップ水力発電所の建設概要を伺いながら現地を視察いたします。また、夕刻には現地駐在の方々との懇談会も予定しています。

●ジェトロ ラオス事務所

ラオスは中国やタイの投資環境の急変により日系企業から「タイ+（プラス）1」として工場を設立する動きもあるなど、近年、注目を集めています。ジェトロでは2014年4月にラオス事務所開設により、日本企業及び日系企業の海外展開活動を、さらにきめ細やかに支援することが可能になりました。

同センターから、ラオスの最新経済事情や商習慣、日本企業、日系企業のラオス進出状況や日本企業が進出するにあたっての課題と日本の支援体制などについてご紹介いただきます。

宿泊先

- 1・6日目： バンコク : ラディソン・ブル・プラザ・バンコク
- 2日目： ルアンパバーン : ヴィラ・サンティ ホテル&リゾート
- 3・5日目： ビエンチャン : ラオプラザ
- 4日目： バクサン : パクサンホテル

※ 都合により、予定を変更する場合がございます。

定員

15名

参加費

350,000 円（エコノミークラス・2名1室）

- ※ 参加人数が10名に達しない場合、参加費が1万円アップとなります。
- ※ 1名1室宿泊の場合：60,000円 追加。
- ※ ビジネスクラスの場合：180,000円 追加。
- ※ 予定変更の場合は差額が生じることもございます。

参加費に含まれる費用

航空運賃・チャーターバス代（中型）・宿泊費・食事（朝6回、昼7回（うち機内食2回）、夜6回）・視察料・ガイド料・観光入場料・団体行動中のチップ・事務局経費

参加費に含まれない費用

諸経費（関空・海外空港税・燃油サーチャージ（タイ⇄ラオス）（約7,840円））
飲物代・旅行保険・個人的費用

キャンセル料

(株) 阪急交通社の旅行約款に基づき、4月19日（火）以降は、所定のキャンセル料が必要となります。

	旅行契約の解除期日	キャンセル料
①	旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降（②及び③を除く）	参加費の20%
②	旅行開始日の前々日以降（③を除く）	参加費の50%
③	旅行開始後の解除、又は無連絡不参加の場合	参加費の100%

取扱い旅行代理店

(株) 阪急交通社 阪神航空営業課（大阪国際サイエンスクラブ会員）

お問い合わせ

大阪国際サイエンスクラブ
アシスタントマネージャー 八木
電話：06-6441-0458 Eメール：yagi@isco.gr.jp

スケジュール

日次	月日	地名	現地時刻/ 交通機関	日程	食事
1	5/20 (金)	関西空港発 バンコク着	11:45 /TG623 15:45 専用車	タイ航空にてバンコクへ (所要5時間50分) 到着後、ホテルへ ＜バンコク泊＞	朝：— 昼：機内 夕：レストラン
2	5/21 (土)	バンコク発 ルアンパバーン着	10:05 /PG941 12:05 専用車	国際線にてルアンパバーンへ 到着後、ルアンパバーン視察 ＜ルアンパバーン泊＞	朝：ホテル 昼：レストラン 夕：レストラン
3	5/22 (日)	ルアンパバーン ルアンパバーン発 ビエンチャン着	専用車 18:35 /QV104 19:20 専用車	終日、ルアンパバーン視察 国内線にてビエンチャンへ 着後、ホテルへ ＜ビエンチャン泊＞	朝：ホテル 昼：レストラン 夕：ホテル
4	5/23 (月)	ビエンチャン パクサン	専用車	午前：社会システム総合研究所視察予定 午後：ナムアップ水力発電所建設現場周辺へ移動 (所要時間 車で2時間30分) 夕刻：現地駐在員の方々との懇談 ＜パクサン泊＞	朝：ホテル 昼：レストラン 夕：懇談・ 夕食会
5	5/24 (火)	パクサン ビエンチャン	専用車	午前：ナムアップ水力発電所建設現場 (所要時間 車で1時間) 午後：建設現場スタッフとの懇談 懇談後、ビエンチャンへ移動 ＜ビエンチャン泊＞	朝：ホテル 昼：懇談・ 昼食会 夕：レストラン
6	5/25 (水)	ビエンチャン ビエンチャン発 バンコク着	専用車 13:20 /TG571 14:25 専用車	午前：JETRO ビエンチャン事務所訪問予定 タイ航空にてバンコクへ (所要1時間05分) バンコク到着後、ホテルへ ＜バンコク泊＞	朝：ホテル 昼：レストラン 夕：レストラン
7	5/26 (木)	バンコク発 関西空港着	11:00 /TG672 18:30	タイ航空にて帰国の途へ(所要5時間30分) 入国手続き後、解散	朝：ホテル 昼：機内食 夕：—

※都合により、予定を変更する場合がございます

参加申込書

締切り：4月15日（金）

宛先：大阪国際サイエンスクラブ FAX：06-6441-0459

Eメール：yagi@isco.gr.jp

名前	漢字			
	英文			
自宅住所	〒			
電話			FAX	
携帯電話 (現地)			e-mail	
生年月日	年 月 日			
パスポート	No		有効期限	年 月 日
所属	和		役職	和
	英			英
所在地	〒			
電話			FAX	
航空機	・ビジネスクラス		・エコノミークラス	
マイレージ航空会社 (スターアライアンス)			No.	
部屋	・1名1室		・2名1室	
留守宅 (緊急連絡先)	氏名			電話
留守宅 (緊急連絡先)	氏名			電話

※ 2名様以上の場合はお手数ですが、本用紙をコピーしてお使い下さい